さわやか青空便地野中央自治会

第 31 号 平成 30 年 6 月 会長 岡本 諒

自主防災役員会議の開催

=各家庭で防災マップの活用を=

自主防災役員会議は 5 月 19日(土) 13時30分から北 野連合会館にて19名が参加 し、開催されました。

岡本会長の挨拶の後、会議は、太田防災部長の進行により行われ、前年度の防災部活動報告に続き、会長からは個人情報の取り扱いについて



の他、過日各ご家庭にお配りした北野地区防災マップに基づいて、家族で話し合い、日頃から防災に関する施設などを把握しておくとともに、避難場所までの複数の避難経路を図上で確認しておくなど大いに活用して頂きたいこと。太田(眞)福祉推進委員会委員長からは災害時要支援者への対応ついて説明がありました。

防災用具整備では、大ハンマーの補充について、また、車椅子の保管については、防災資材庫に余裕がないことから、寄贈して頂いた荒木栄さん(1 区 5 班) 宅にお預かりをお願いすることに。また、役員の高齢化など、課題もあり、防災組織、各班の再編、「防災時の心構え」の啓発の必要性についてなどの意見交換が行われました。

続いて、今年度計画されている防災訓練〔7月8日〕、避難所運営ゲーム(H UG)講習会〔9月23日(日)の実施内容について説明が行われました。

第1回役員・班長会議の開催

財政の改善が今後の課題

第1回目の役員・班長会議は5月13日(日)、北野連合会館において開催されました。

会長の挨拶では、子供からお年寄りまで安全安心で住みよい街づくりに努めて行きたい、そのために役員班長各位のご協力をお願したい旨のあいさつがありましたが、特に班長への3つのお願いとして

- ① 各事業への積極的な参加とスタッフとしての活動協力。
- ② 高齢世帯が多いことから一人ひとりが福祉推進員になったつもりでの 見守活動。(小さなおせっかい運動)
- ③ 教育、防犯の効果もあることから、町内での声掛け、あいさつの励行。 また、キツネの出没による注意と、ペットを飼っている方へのマナーについて などのお話がありました。

自己紹介のあと、会則により、会長から相談役及び福祉推進委員会委員長の委嘱があり、別表の方々に委嘱状が手渡されました。

続いて、各部及び班長の業務内容の確認と、今年度の行事内容、役割分担について説明がありました。

総務部長からは、会則・内規集について は隔年で作成することとし、来年の総会 時に配布する。

今後の重要課題として除雪費は、従来の各世帯 3,000 円から 4,000 円にする必要があるのではないか、との問題提起がありました。

| 委嘱された方 | | (敬称略) |
|--------|------|-------|
| 役職名 | 氏 名 | 区・班 |
| 相談役 | 太田 眞 | 1区6班 |
| | 大内邦夫 | 2区3班 |
| | 伊藤昭夫 | 2区10班 |
| | 幡江 洋 | 2区10班 |
| 福祉推進委 | 太田 眞 | 1区6班 |
| 員会委員長 | 太田 眞 | |



保健衛生部長からは、現在自治会内にあるごみステーション 15 カ所のうち破損がひどい 5 か所について今年度更新するが、従来の方式に代えて折り畳み式のものにしたいとの報告と、ごみステーションの管理について会員各位への協力要請

がありました。

また、野外懇親会について食材の高騰により、内容などの変更も検討しなければならないこと。会場は、第二公園の芝生が傷んだことから過日、芝生の種をまくなどの処置をしたが、芝生の状況によっては会場を第一公園に変更しても良いのではないかとの提案がありました。

北野通り花壇など花苗植え作業

チューリップからマリーゴールドの季節へ



5月の上旬はチューリップが彩りました







第一公園

北野通り花壇については昨年、当自 治会は、ます花壇優良製作者として札 幌市から表彰されています。

今年も、雪解け後、チューリップが 見事に咲いてくれましたが、チューリップの季節が終わった 5 月 26 日(土) 会員の手によってマリーゴールド 800 株(北側黄色、南側橙色各 400 株)が、 北野第一及び第二公園にはペチュニア 100 株、ダイアンサス 30 株が植えられました。参加者はおよそ 40 名。

いずれも降雪期までの間、私たちの 目を楽しませてくれることでしょう。

なお、北野通り花壇については、20 日(日)、21日(月)の二日にわたり 土起こしと草取りを行いましたが、参 加していただけた方が少なく、今後の 課題となりました。



第二公園

第3回電子回覧板検討委員会を開催

~アンケート実施の予定~

当自治会は高齢化率 45.3%を超える現状から回覧物に関しては、班長をはじめ会員の負担を軽減することが求められています。

当委員会は昨年12月2日に第1回委員会を開催し、電子化にかかる問題点などを検討してきおり、5月27日(日)第3回目の委員会が開催されました。

電子化に当たっては、タブレットなど受信機が必要でありますが、これにかかる使用料金など「経費は無料」であること。使い方については「講習会など開催し十分周知する」こと。これらのことが最低限の条件と思われますが、会員各位の意向やタブレットなどの所有状況を把握することが必定であることからアンケートを実施し、会員皆様の意見をお聞きすることになりました。

つきましては後日、アンケート用紙をお配りしますのでよろしくお願い致します。

お願い 防犯パトロールのご協力

自治会では、通常の行事の他に、会員の自主活動として、スクールガード、防 犯パトロール、資源回収などがあり、協力して頂いています。

しかし、高齢化が進む中、一部の人達にかかる負担が大きくなってきております。

特に、防犯パトロールについては厳しく、出来ることなら 2 名一組で毎日実施したいところで、そのためには 1 週で 14 名が必要ですが現在、6 名で行っている状況です。

近年、不審者情報も多数寄せられており、また、新潟市の女子児童殺害死体遺棄事件など悪質な犯罪事例が発生していることからも、パトロールの必要性が高まっております。地域住民の目が行き届いていることで不審者が犯行に至る行為を未然に防ぐことが出来ると思います。

1週間に1度、1時間ほどのパトロールですが、協力いただける方が多ければ 一人の負担も軽減されますので、ぜひご協力をお願いいたします。

協力いただける方は、岡本会長または藤原防犯部長に連絡してください。

編集者 広報部 荒木貞一